

7.24 大村市視察に向けた概要説明

「中小企業振興基本条例」を活かした
地域づくりと官民連携の仕組みを学ぶ

日田商工会議所 キャッシュレス委員会

視察の「真の目的」とは？

表面的なテーマ（視察のきっかけ）

- キャッシュレス推進
- 地域通貨
- DX推進 ※大村市へも当初この文脈で依頼が先行

本質的なテーマ（本当に学びたいこと）

- 「中小企業振興基本条例」を活かした地域づくり
- 施策を生み出し、継続させる「官民連携の仕組み」

※本主旨に沿って大村市側と調整済

今回の視察は、戦術（キャッシュレス）も学ぶと同時に、より本質的な戦略（持続可能な仕組みづくり）も学ぶための思考の枠組みの転換です。

なぜ、視察先に「大村市」を選ぶのか？

	日田市	大村市
現状の成果	課題山積（人口減少・若者流出）	人口増加傾向・若者流入・ 企業立地・子育て支援の充実
条例の運用	存在はするが形骸化・継続性不足	「条例を作って終わり」に にしていない
民間の姿勢	温度差あり・属人化	官民連携で継続的に推進

大村市の最大の強みは、条例をベースとした
「課題解決に向けた施策が継続的に実行される土壌」にあります。

大村市を動かす「官民連携エンジン」

強固な会議体運営



- ・商工会議所会頭と市長の「毎月のランチミーティング」
- ・中小企業振興会議 & 運営部会
- ・時代に合わせた「専門部会」(人材確保、若者未来、DX、働き方など)



生み出された具体策の例

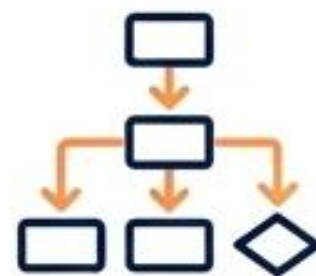
- ・高校生と企業の意見交換会
- ・若者定着施策(UIターン支援)
- ・DX推進相談窓口
- ・地域通貨、キャッシュレス推進

本視察で重点的に学ぶ6つのポイント



会議体運営と専門部会

(形骸化を防ぐ仕組み・役割)



提言から施策化のフロー

(実行力を伴うプロセス)



若者定着と人材確保

(具体的なアプローチ手法)



官民連携の維持

(民間主体の熱量をどう保つか)



DX・キャッシュレスの活用

(地域政策との結びつけ)



継続できる仕組みづくり

(属人化からの脱却)

7月24日 視察スケジュールと参加体制

参加体制（産官民の総力戦）

【商工会議所】

正副会頭・議員・
キャッシュレス委員会

【行政】

日田市役所
商工労政課

【民間】

大分県中小企業家同友会
日田支部

13:30～

大村市長による
現状報告

16:00

大村市商工振興課や
大村商工会議所との意見交換

「大村市はすごい」で終わらせないために

• 日田市の
「中小企業振興基本条例」
への魂の注入と再活用

• 商工会議所が果たすべき
「新たな役割」の定義

• 行政との強固な
連携体制の構築

• 今後の日田市の
商工施策への
直接的な反映

「日田市の商工施策を考えるための視察」
再び活発に議論するきっかけにします。

大村市中小企業振興会議活動経過について

年度	提言内容	部会	取組状況	
H28	人材確保について	人材部会		
	・高等学校進路担当者と市内中小企業者等の意見交換会		大村市若者定着官民連携会議	H29.2
	・高等学校の生徒及び保護者への市内中小企業者の紹介		会社概要説明会	H29.8
	・市内中小企業者の情報発信サイトの構築		大村市企業紹介サイト「おむナビ」	H30
	人材育成について	人材部会		
	・新規採用者を対象とする異業種交流研修		初任者・異業種交流会	H29.6
	・市の助成事業（大村市中小企業研修受講料補助金）の拡充		大村市中小企業等研修受講料等補助金※対象拡大	H29.4
	その他			
	・公的機関（国、県及び市等）からの補助制度等の情報提供		おむナビでのメールマガジン	H30
H29	人材確保、育成について	人材部会		
	・各種資格及び免許取得時の支援		大村市中小企業等研修受講料等補助金※対象拡大	H30.4
	・女性雇用の支援（育児中の女性向け就活フェスタ等）		先進地事例の調査・関係機関へヒアリング	H30.4
	・高齢者や外国人の雇用について		関係機関へヒアリング	H30.4
	・小・中学校等キャリア教育		関係機関へヒアリング	H29.12
	企業の魅力づくりについて ―魅力づくりに関する情報提供―	魅力部会	大村市企業紹介サイト「おむナビ」	H30
	情報の利活用について ―企業情報等の発信強化―	魅力部会	大村市企業紹介サイト「おむナビ」	H30
H30	中小企業に対する市の取り組みの周知について	人材部会・情報部会	大村市中小企業等研修受講料等補助金	継続
			会社概要説明会	継続
			大村市企業紹介サイト「おむナビ」	継続
	大村市中小企業者等研修受講料等補助金について	人材部会・情報部会	大村市中小企業等研修受講料等補助金	継続
H31	継続して調査・研究する事項について	人材部会・情報部会		
	おむナビの改善について（登録企業数の増）	情報部会	大村市企業紹介サイト「おむナビ」改修	R2
	地域連携ポイントについて	情報部会		
	小・中学校等におけるキャリア教育支援について	人材部会	大村市総合教育会議を活用	
	地域経済の活性化に繋がる地場企業振興のための施策について	人材部会	大村市産業支援センターの支援体制研究	

年度	提言内容	部会	取組状況	
R3	経営に係る相談窓口の体制について	ウィズコロナ部会		
	・大村市産業支援センターの運営について		大村市産業相談支援体制協議会	R4.5
	・大村市産業支援センターと各支援機関とのネットワークの構築について		大村市産業相談支援体制協議会	R4.5
	業務のデジタル化推進に係る支援策について	ポストコロナ部会		
	・サポート拠点（相談窓口）の設置			
	・セミナーの開催		地元密着企業のデジタル化応援セミナー	R5.1
	・補助金事業の実施		おおむら中小企業DX推進事業補助金	R5
R4	災害に強い企業づくりのための支援について	災害部会		
	・BCP策定の普及促進について		東京海上日動火災保険との意見交換（中小機構受託事業）	R4
	・事業者支援拠点の体制整備について			
	・大村市地域防災計画の周知について			
	業務のデジタル化推進に係る支援策について【継続】	デジタル部会		
	・サポート拠点（相談窓口）の設置			
	・セミナーの開催		地元密着企業のデジタル化応援セミナー	R5.1
	・補助金事業の実施		おおむら中小企業DX推進事業補助金	R5
R5-6	人材を確保するための支援について	人材確保部会		
	・市内中小企業の魅力発信について		大村市企業情報サイト「おむジョブ！グッジョブ」	R6.12
	・地元高等学校と市内事業者がお互い知り合える機会の拡充と充実化		市内企業説明会規模拡大	R7
	・中学校・高等学校におけるキャリア教育支援について		市内企業説明会サイト連携	R7
	人材育成に関する課題の解決について	人材育成部会		
	・有益な情報の発信			
	・相談体制の強化			
	人材の定着を図るための支援について	人材定着部会		
	・地域全体でのサポート			
	・コミュニティの拠点となる場の構築			
R7	若者の定着・キャリア教育に関する支援について	わかものミライ部会		
	・大村市若者定着官民連携会議の改善			
	・教員・保護者への企業理解支援		高校生向けキャリアチャレンジイベント拡充	R8予定
	・地元高校生への企業力発信の強化		地元就職促進SNSプロモーション	R8予定
	・高校生のキャリア教育における企業連携の推進			
	障がい者雇用・就労支援に関する支援について	はたらくチカラ部会		
	・障がい者の直接雇用に関する支援			
	・就労支援施設への業務委託に関する支援			
	新たな労働力確保に関する支援について	はたらきリデザイン部会	大村市企業情報サイト「おむジョブ！グッジョブ」拡充	R8予定
	・UIターン人材のマッチング支援			
	・移住ターゲットに即した情報発信の強化			
	・業務の効率化・省力化に関する支援			

令和8年度の活動方針及びスケジュール(案)について

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営 ①	振興 ①	振興 ②	専門 ①	専門②～③	運営 ③	振興 ③	専門②～③	運営 ③	振興 ④	提言	運営 ④
※同日開催(全体→分科会)						(調査)					

実施時期	会議名	内容
4月21日	運営部会①	・今年度の活動方針(案)について ・今年度のスケジュール(案)について ・次回の振興会議の運営について
5月8日	振興会議①	・委員委嘱 ・会長、副会長の選任について ・運営部会の設置について ・今年度の活動方針について(旧運営部会からの提案) ・今年度のスケジュールについて(旧運営部会からの提案) ・グループワーク(中小企業における現状や課題の共有)
5月28日	運営部会②	・今年度の研究テーマ(案)について ・専門部会の設置について ・次回の振興会議の運営について
6月中	振興会議②	・今年度の研究テーマ(案)について(運営部会からの提案) ・専門部会の設置について(会長からの指名)
6月～ 8月下旬	専門部会 ①～③	・調査研究について(意見交換～先進地視察等) ・調査研究テーマに関する手法(視察やアンケート等)について
9月上旬	運営部会③	・各専門部会の中間報告について ・各専門部会からの調査内容(案)について ・次回の振興会議の運営について
9月下旬	振興会議	・各専門部会の中間報告について(各専門部会から報告) ・各専門部会からの調査内容(案)について(各専門部会からの提案)
10月～ 12月	専門部会 (調査)	・調査研究について ・提言(案)について (アンケート等調査及び集計)
1月中	運営部会	・各専門部会からの結果報告について ・提言(案)について ・次回の振興会議の運営について
2月上旬	振興会議	・各専門部会の結果報告について(各専門部会からの報告) ・提言について(各専門部会からの提案)
2月下旬	提言	・市長への提言
3月頃	運営部会	・次年度のスケジュール(案)について ・次年度の調査研究テーマ(案)について ・次年度の専門部会(案)について

令和7年度のスケジュール（案）について

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
運営	振興 専門	専門 運営	振興	専門	運営	振興 提言	運営
	※5/28		調査				

実施時期	会議名	内容
4月10日	運営部会	・今年度の調査研究テーマ（案）について ・今年度の専門部会（案）について ・今年度のスケジュール（案）について ・次回の振興会議の運営について
5月28日	振興会議	・今年度の調査研究テーマについて（運営部会からの提案） ・今年度の専門部会について（会長からの指名） ・今年度のスケジュールについて（運営部会からの提案）
5月下旬～ 6月下旬	専門部会	・調査研究について ・調査研究テーマに関する手法（視察やアンケート等）について
6月下旬	運営部会	・各専門部会の中間報告について ・各専門部会からのアンケート調査項目について ・次回の振興会議の運営について
7月中旬	振興会議	・各専門部会の中間報告について（各専門部会から報告） ・各専門部会からの調査内容について（各専門部会からの提案）
7月下旬～ 8月下旬	調査	・先進地視察やアンケート等調査及び集計
7月下旬～ 9月初旬	専門部会	・調査研究について ・提言（案）について
9月中旬	運営部会	・各専門部会からの結果報告について ・提言（案）について ・次回の振興会議の運営について
9月下旬	振興会議	・各専門部会の結果報告について（各専門部会からの報告） ・提言について（各専門部会からの提案）
10月初旬	提言	・市長への提言
11月頃	運営部会	・次年度のスケジュール（案）について ・次年度の調査研究テーマ（案）について ・次年度の専門部会（案）について

令和8年度大村市中小企業振興会議委員名簿

委嘱期間：令和8年5月1日から令和11年4月30日まで

区分ごと50音順

No	区分	氏名	団体名
1	中小企業者の代表者	高瀬 英三	おおむらケーブルテレビ株式会社
2	中小企業者の代表者	堤 康博	社会福祉法人とみのはら福祉会
3	中小企業者の代表者	時 忠之	株式会社大幸企画
4	中小企業者の代表者	中川 有ニ	株式会社ナカガワ
5	中小企業者の代表者	中村 康祐	株式会社ナカムラ消防化学
6	中小企業団体の代表者	重松 泰子	大村商工会議所 女性部
7	中小企業団体の代表者	為永 大輔	大村商工会議所 青年部
8	中小企業団体の代表者	山崎 剛	大村商工会議所
9	中小企業団体の代表者	鹿取 栄治	長崎県中小企業家同友会 大村支部
10	大企業者の代表者	橋本 岳秋	SUMCO TECHXIV株式会社
11	学識経験を有する者	山口 純哉	国立大学法人長崎大学経済学部
12	関係行政機関の職員	町永 誠司	長崎県央振興局 管理部
13	公募による市民	金原 直美	
14	その他市長が必要と認める者 (ITコンサル)	一橋 和子	MISERU株式会社
15	その他市長が必要と認める者 (創業塾生)	桐原 大和	株式会社OLIMAMA
16	その他市長が必要と認める者 (青年団体)	寿々木 優志	大村青年会議所
17	その他市長が必要と認める者 (域外人材)	丹路 修平	株式会社大村湾商事
18	その他市長が必要と認める者	森 広康	大同商事有限会社
19	その他市長が必要と認める者	山口 順市	大村銀行協会
20	その他市長が必要と認める者	吉岡 和佳子	クラスペディア

7月24日 大村市視察について(文章としての案)

日田商工会議所キャッシュレス委員会では、7月24日(金)に長崎県大村市への視察を予定しております。

今回の視察はキャッシュレス委員会が窓口となっておりますが、単にキャッシュレスや地域通貨の仕組みを学ぶことが目的ではありません。

大村市では、中小企業振興基本条例を活用しながら、行政・商工会議所・企業・関係団体が継続的に連携し、若者定着、人材確保、DX推進、地域経済活性化などの課題に取り組んでいます。

特に、

- ・商工会議所会頭と市長による定期的な意見交換
- ・中小企業振興会議の開催
- ・専門部会による調査研究
- ・市長への提言と施策化
- ・高校と企業の意見交換会
- ・若者定着施策
- ・DX推進や地域通貨の活用

など、条例を活かした官民連携の仕組みが継続的に運営されています。

今回の視察では、キャッシュレスや地域通貨の取り組みも学びますが、その背景にある

「なぜ継続的な官民連携ができているのか」

「中小企業振興基本条例をどのように地域づくりへ活かしているのか」

という点を重点的に学びたいと考えております。

当日は、13時30分から大村市長による現状報告・講話が予定されており、その後、大村市商工振興課や商工会議所関係者との意見交換を行う予定です。

日田市においても、人口減少や若者流出、人材不足などの課題が深刻化しています。これらは行政だけの課題ではなく、地域経済を支える私たち事業者にとっても重要な経営課題です。

今回の視察を通じて、日田市の中小企業振興基本条例の活用や、今後の商工施策、官民連携のあり方について考える機会とし、視察後には内容を共有しながら、日田市の未来につながる議論へ発展させていきたいと考えております。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

日田商工会議所 キャッシュレス委員会
委員長 宮野 大樹